

町が所属する一部事務組合の予算の公表

■問合せ先

富岡甘楽広域市町村圏振興整備組合
事務局総務課 ☎62-5261
環境施設課 ☎64-1241

■富岡甘楽広域市町村圏振興整備組合

組合を組織しているのは富岡市・下仁田町・南牧村・甘楽町です。事務所は、富岡市富岡2486番地7(事務局総務課)と富岡市田篠1297番地1(環境施設課)です。

4月1日から、旧富岡甘楽衛生施設組合との統合により、富岡市と甘楽町の「し尿処理施設の設置および管理に関する事務」を富岡甘楽広域市町村圏振興整備組合で共同処理を開始します。

■業務内容(共同処理)

消防組織法と消防法で定める市町村の消防事務、看護師養成所(富岡看護専門学校)の設置と管理事務、救急医療対策事業に関する事務、富岡市と甘楽町のし尿処理施設管理事業と水質検査事業などです。

令和2年度

▼一般会計予算

歳入 (単位:千円、%)		
科目	予算額	構成比
分担金・負担金	1,515,898	94.7
使用料・手数料	38,025	2.4
県支出金	433	0.0
繰入金	2,100	0.1
繰越金	19,000	1.2
諸収入	8,454	0.5
組合債	16,800	1.1
合計	1,600,710	100.0

町の負担金は258,164千円です

歳出 (単位:千円、%)		
科目	予算額	構成比
議会費	818	0.1
総務費	49,914	3.1
衛生費	111,200	7.0
消防費	1,199,515	74.9
教育費	115,169	7.2
公債費	114,094	7.1
予備費	10,000	0.6
合計	1,600,710	100.0

▼衛生管理センター事業特別会計予算

歳入 (単位:千円、%)		
科目	予算額	構成比
分担金・負担金	126,567	89.5
使用料・手数料	8,940	6.3
国庫支出金	3,000	2.1
財産収入	802	0.6
繰入金	1	0.0
繰越金	2,000	1.4
諸収入	69	0.1
合計	141,379	100.0

歳出 (単位:千円、%)		
科目	予算額	構成比
衛生費	136,379	96.5
予備費	5,000	3.5
合計	141,379	100.0

町の負担金は14,597千円です

※特別会計予算は、富岡市と甘楽町で負担しています。

甘楽分署が移転し、地域を守る新たな拠点としてスタート

甘楽分署は小川の旧甘楽第一中学校跡地に移転し、4月1日から運用を開始します。



甘楽分署員の皆さん



■富岡消防署甘楽分署
(小川328-1 ☎74-3139)



甘楽分署長 渡辺将博さん

このたび、町民の皆さまのご理解のもと、新しい分署が運用開始となります。この庁舎は、訓練塔や救急消毒室を併設し、より高度な行政サービスが提供できるよう万全を期した設計となっています。この庁舎を有効に活用し、署員一丸となってより一層の安心安全の確保に努めてまいります。

防災基盤が充実 1-1-2 消防詰所が完成

■ 総務課庶務係 内線211

2・3・4・5区を管轄する消防団第1分団第2部の詰所が小幡の織田公園入口に完成しました。建物の老朽化と平成29年度の町消防団組織再編により、団員も増えて手狭になったため、場所を東側に移転して建設されました。新詰所の構造は、木造2階建・瓦葺で、1階は車庫と機材棚、2階は団員待機所となっています。織田公園の景観に溶け込んだこだわりの外観の詰所は、地域住民の皆さんの安全と安心を守る施設として活用されます。



和のテイストが素晴らしい詰所

金婚

結婚50周年(金婚式)を迎えたご夫婦に慶祝状と記念品を贈呈しました。おめでとうございます。

金婚式名簿

(敬称略)

氏名	夫妻	地区
小幡	勇江 さか	庭谷
小林	智江 君江	小幡
山田	光雄 るみ	福島
萩原	登子 房	白倉
加藤	恒雄 純子	福島



慶祝状は額(左)と写真たて(右)のいずれかを選べます

登録件数急増中！安全安心を届けます

災害・防災情報をいち早くキャッチ

「甘楽町安全安心メール」は、火災や防災、防犯、地域の情報を電子メールでお知らせするサービスです。事前に登録していただくと、携帯電話やパソコンなどに必要な情報が配信されます。

※基本的には防災行政無線と同じ内容です。また、町からのお知らせやイベント情報など行政情報もお届けします。

甘楽町 安全安心メール

登録方法

- ①携帯電話やパソコンなどから右の「QRコード」を読み込み、表示されたメールアドレスへ空メールを送信してください。また、QRコードを読めない場合は、ml.kanra@e-park.ne.jpへ空メールを送信してください。
- ②安全安心メールを登録するURL(Webサイト)が送信されますので、URLをクリックしてください。
- ③「火災防災」「防犯」「行政情報」の中から送信を希望する情報をチェックし、「利用規約を了承して登録」ボタンを押すと、登録完了のメールが送られて登録終了です。

QRコード



3月19日現在の登録者数は
3,100人です



※迷惑メール対策を設定している場合は、このドメイン(e-park.ne.jp)からのメールを受信できるように設定解除する必要があります。設定方法は、各携帯電話会社の方法に従ってください。

■ 問合せ先 総務課庶務係 内線211

「ご長寿調査を実施しています」

「にこにこ甘楽」(67)7655

健康課地域包括支援センター 内線621・622

健康長寿の里・かんらを目指して

いつまでも住み慣れた地域で暮らせるまち「健康長寿の里・かんら」を目指し、町では何らかの支援を必要とする人を早期に見つけ、その人に合った介護予防の活動につなぐことを目的に「ご長寿調査」を実施しています。

「ご長寿調査」とは

自宅に住む75歳以上の高齢者（要支援・要介護認定者を除く）を対象に、生活や体の様子を伺うアンケートを郵送し、回答後に返送してもらいます。

回答されたアンケートは地域包括支援センターで集計し、地域の高齢者の様子を把握するとともに、相談などに対応する資料とさせていただきます。

令和元年度は新屋地区で実施し、以降年度ごとに小幡、福島、秋畑地区と続きます。

回答のない場合は、地域包括支援センター職員が電話や訪問で伺いすることがあります。

令和元年度新屋地区調査結果

対象者数	410人	
回答者数 ※3月10日現在	405人 回収率(98.8%)	
介護予防が必要な項目	運動機能	57人
	口腔機能	42人
	閉じこもり	12人
	認知機能	44人
	うつ傾向	17人

生活機能の衰えに早めに気付くことで健康寿命を延ばすことができます



おすすめの介護予防事業

運動機能の向上には…

- ・元気アップ塾（週1回、3カ月間）
- ・いきいき筋力トレーニング教室

口腔機能の向上には…

- ・元気アップ塾（月2回、3カ月間）

認知機能の向上には…

- ・コグニサイズ（週1回、6カ月間）
*6月以降に開始予定
- ・オレンジカフェ

閉じこもり・うつ予防には…

- ・ミニデイサービス
- ・にこにこサロン
- ・各地区のおたっしゃ会や居場所など



小幡地区は令和2年3月中に実施しました。未提出の人は回答にご協力ください。

「コグニサイズ」の様子



指導員の声かけや音楽に合わせて、踏み台昇降やストレッチをします

参加者の声

「最初は何をするか不安だったが、参加するうちに、仲間と一緒に身体を動かすことが楽しくなった。出かける場所がある、ということは良いこと」

ご長寿調査の対象地区以外でも、心身や生活機能の衰えの心配がある人は、にこにこ甘楽の窓口や電話での聞き取りも実施しています。お気軽にご相談ください。

公共下水道供用開始区域が、 (下水道の使用できる区域) 4月1日から 4.83ヘクタール広がりました

公共下水道供用開始区域

◇大字白倉の一部

4.83ヘクタール



供用開始区域を告示

公共下水道が使用できる区域が新たに追加されました。区域内のご家庭では、排水設備を設置することにより、トイレや台所などの汚水を直接公共下水道に流すことができるようになります。

下水道への接続工事を

公共下水道が完成し、処理区域になると、くみ取り式トイレの場合3年以内に水洗トイレに改造し、公共下水道に接続することが下水道法に定められています。



また現在、浄化槽を使用されているご家庭も浄化槽を廃止し、すみやかに公共下水道に直結していただくこととなります。

工事は排水設備指定工事店で



指定工事店は町内35社、町外80社が登録しています。見積り合わせなどで比較して選定しましょう。

お住まいの地域が供用開始区域になった皆さんは、お早めに公共下水道に接続しましょう！



排水設備工事をするときには、必ず「指定工事店」へお申し込みください。「指定工事店」以外の業者が工事をすることは規則により禁じられています。
※「指定工事店」とは、工事が適正に行われるよう町が指定し指導を行っている業者です。

下水道に接続すると

下水道は快適で衛生的な環境を確保し、公共水域の水質保全を図るうえで欠くことのできない施設です。

下水道に接続すると町の景観が美しくなり、清潔で住みよい環境になります。また、悪臭や面倒な雑排水管理・浄化槽の汚泥処理に悩まされることがなくなります。

しかし、台所のごみや廃油、有害物を流してしまったりなど、使用方法を誤るとご家庭の下水管を詰まらせたり、下水本管や処理場の機能も低下させてしまいます。

公共下水道・農業集落排水はみんなが使う公共の財産です。大切に使いましょう。



家庭の汚水は下水管で処理場に集められ、きれいにしてから川などに流されます。これにより魚やほかの生物が住むことができる清流がよみがえってきます。